

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	後藤 正孝
主な担当科目	実技個人レッスン[ピアノ I ①,ピアノ I ③,ピアノ実技 I ①,ピアノ実技 I ②,ピアノ実技 I ③,ピアノ実技 I ④,ピアノ実技 II ③],音楽芸術表現実技(ピアノ)①②],実技グループレッスン[ピアノ II ②]
シラバス	次ページをご参照ください
2022年の教育目標・授業に臨む姿勢	専任講師も2年目となり、少しずつ心理的に余裕が出てきた。普段のレッスンでは、弾いて示すということは変わらずに意識し、自分自身の技術向上のために日々の自己練習を欠かすことはなかった。それだけではなく、言葉でも多角的なアプローチを示すことにも気をつけ、文献なども積極的に参考にした。学生とコミュニケーションを多く取ることも気をつけて実行できたと思う。
2022年の教育に関する自己評価	レッスンでは私自身が指摘することが一方通行にならぬよう、引き続き学生ひとりひとりのコミュニケーションをしっかりと取ることを心掛けた。また本年度は技術的・音楽的なことだけでなく、学生のモチベーションをどうしたら保つもしくは上げていけるのかということも日々考えた。不安定な世の中で、心に不安を抱えながら大学生活を送る学生はたくさんいる。相談を受けるときは上から目線にならず、対等な立場で会話することを意識した。授業に関しては、昨年度よりも落ち着いて臨むことができた。更にブラッシュアップしていきたい。
2022年のFD活動に関する自己評価	コロナ禍も3年目となり、学生を取り巻く環境も刻々と変化をしている。特に心に問題を抱えた学生が近年特に増えてきているように感じる。私が実技を担当する学生にも極端に自己肯定感の低い学生が目につくようになった。教育活動とも繋がる部分であるが、精神面のケアをどうすれば良いのかということを中心に考えた。決して自分の基準で物事を判断せず、同じ目線に立って考えることが大切だと感じていいる。「多様性」という言葉で一括りにはせず、ひとりひとりに向き合っって対応することを重視し、その点は一定の成果は得られたと思う。
授業改善のために取り入れた研修内容	昨年度に引き続き1年生の担任を務めたこともあり、新入生がスムーズに大学生活をスタートできることに特に気がつけた。私が実技を担当する学生だけでなく、校舎内で学生を見掛けたら積極的に話しかけることを意識した。その結果、何気ないことでも私に話してくれたり相談をしてくれたり、かなり密なコミュニケーションを取ることができた。来年度も引き続き心のケアを念頭に置き、日々尽力したい。

科目名－クラス名

ピアノⅠ①

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
実技・実習	1～	通年	6	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノミュージッククリエイターコース、ピアノ指導者コース、ピアノ音楽コースの主科実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。いわゆるヨーロッパ音楽を中心に、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。具体的には、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品を概観する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した主要な作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	テクニック修得に基づく基礎知識
第3回	指の強化トレーニング方法
第4回	敏捷性トレーニング方法
第5回	エチュード作品奏法
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	スケールの奏法について
第17回	音楽的表現に沿った脱力奏法について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（原典版・校訂版、関連文献・資料について学修する）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノⅠ①

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	6	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

音楽科ピアノコースの週1回60分主科実技科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏を通して理解を深めていくことを目標としている。ヨーロッパ音楽を起点とし、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景等について学修する。具体的には、1年次では基礎的演奏技術を習得、2年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品を概観する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）等について研究し、また和声感、リズム感等演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	様々なテクニック修得に基づく基礎知識
第3回	エチュード試験に向けて（作品内容を理解する）
第4回	エチュード試験に向けて（指の強化トレーニング方法）
第5回	エチュード試験に向けて（敏捷性トレーニング方法）
第6回	エチュード試験に向けて（音楽表現を学ぶ）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析、楽曲内容を理解する）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（古典派における演奏スタイルを学ぶ）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（古典派における演奏スタイルを修得する）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探るとともに、演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	スケールの奏法について
第17回	音楽的表現に沿った脱力奏法について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得し、自己の演奏を検証する）

履修上の注意

実技試験課題曲についてはその都度掲示発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受講する際には、充分練習をし準備をして臨むこと。

教科書・参考書

適宜資料等を配付する。

科目名－クラス名

ピアノⅠ①

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
実技・実習	1～	通年	6	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト	
				100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノミュージッククリエイターコース、ピアノ指導者コース、ピアノ音楽コースの主科実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。いわゆるヨーロッパ音楽を中心に、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。具体的には、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品を概観する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した主要な作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	テクニック修得に基づく基礎知識
第3回	指の強化トレーニング方法
第4回	敏捷性トレーニング方法
第5回	エチュード作品奏法
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	スケールの奏法について
第17回	音楽的表現に沿った脱力奏法について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（原典版・校訂版、関連文献・資料について学修する）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（ロマン派における演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノⅠ③

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験					
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	授業内小テスト				
実技・実習	3～	通年	6	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノミュージッククリエイターコース、ピアノ指導者コースの主科実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。いわゆるヨーロッパ音楽を中心に、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。具体的には、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品を概観する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した主要な作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	民族主義的な作曲家作品
第3回	民族的主義的な作曲家作品等
第4回	20世紀の作曲家作品
第5回	20世紀の作曲家作品等
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析を学ぶ）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイル等を修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点等の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現等を修得する）
第16回	個々における技術的問題点について
第17回	邦人作曲家作品について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点等の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現等を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノⅠ③

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出			成果発表
実技・実習	3～	通年	6	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノミュージッククリエイターコース、ピアノ指導者コースの主科実技（個人レッスン週1回60分）科目である。ピアノ（鍵盤）音楽について、演奏という行為を通して理解を深めていくことを目標としている。いわゆるヨーロッパ音楽を中心に、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて学修する。具体的には、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品を概観する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。学修した主要な作品については、レパートリーとしてしっかりと身に付けていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	民族主義的な作曲家作品
第3回	民族的主義的な作曲家作品等
第4回	20世紀の作曲家作品
第5回	20世紀の作曲家作品等
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析を学ぶ）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイル等を修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点等の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現等を修得する）
第16回	個々における技術的問題点について
第17回	邦人作曲家作品について
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者について理解する）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイル等を修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点等の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現等を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ①

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家コースの主科実技科目（個人レッスン週1回90分）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学修する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ①

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	1～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家コースの主科実技科目（個人レッスン週1回90分）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学修する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ②

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	2～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家Ⅰコースの主科実技科目（個人レッスン週1回90分）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学修する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ②

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	2～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家Ⅰコースの主科実技科目（個人レッスン週1回90分）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学修する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ③

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	3～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家Ⅰコースの主科実技科目（個人レッスン週1回90分）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学修する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ③

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	3～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家Ⅰコースの主科実技科目（個人レッスン週1回90分）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学修する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ④

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	4～	通年	9	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家Ⅰコースの主科実技科目（実技レッスン）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学習する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）等について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	前期オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	後期オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを学ぶ）
第24回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを修得する）
第25回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）
第29回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受講する際には、充分準備をして臨むこと。

教科書・参考書

適宜資料を配付する。

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅰ④

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表					
実技・実習	4～	通年	9	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

ピアノ演奏家Ⅰコースの主科実技科目（実技レッスン）である。演奏家として活躍していく上で必要なレパートリー（協奏曲を含む）を中心に学習する。個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについても研究し、4年次までにバロック時代の音楽から、古典派、ロマン派を経て近現代の作品までを学ぶ。なお、4年次前期実技試験課題は協奏曲である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）等について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回 前期オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）

第2回 個々の課題における改善方法

第3回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）

第4回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）

第5回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）

第6回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）

第7回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）

第8回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを学ぶ）

第9回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを修得する）

第10回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）

第11回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）

第12回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）

第13回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）

第14回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）

第15回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

第16回 後期オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）

第17回 個々の課題における改善方法

第18回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）

第19回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）

第20回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）

第21回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）

第22回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）

第23回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを学ぶ）

第24回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品に則した演奏スタイルを修得する）

第25回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）

第26回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）

第27回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）

第28回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を活かす）

第29回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）

第30回 卒業実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

実技試験課題曲については、その都度発表する。前期1回、後期1回試験を行い、その素点を基に評価する。大学が開催する演奏会・招聘教授による公開講座・レッスン等を積極的に受講すること。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

レッスンを受講する際には、充分準備をして臨むこと。

教科書・参考書

適宜資料を配付する。

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅱ③

曜日時限

実技

担当教員

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
実技・実習	3～	通年	6	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	0	100
				100	0	0	0	0	

教育到達目標と概要

この科目はピアノ演奏家コースの中でも、特に高い専門性を求める学生に開講された実技レッスンの選択科目である。演奏会出演や、コンクール参加等の実践的経験を重ねつつ、演奏家たるに必要な肉体的、精神的能力の向上を図る。ピアノ実技Ⅰ①②③④に準ずるものであり、その科目に連動しつつ更に研究を深めていくことを目的としている。選択科目ではあるがピアノ実技Ⅰ①②③④履修者は履修することが望ましい。普段の練習、訓練が重要で相当の時間を費やすことが必要である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

- 第1回 オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
- 第2回 個々の課題における改善方法
- 第3回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
- 第4回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
- 第5回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第6回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
- 第7回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第8回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第9回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第10回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第11回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第12回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第13回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
- 第14回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第15回 前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
- 第16回 オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
- 第17回 個々の課題における改善方法
- 第18回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
- 第19回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
- 第20回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
- 第21回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
- 第22回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
- 第23回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
- 第24回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
- 第25回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
- 第26回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
- 第27回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
- 第28回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
- 第29回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
- 第30回 後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

ピアノ実技Ⅰ①②③④の履修が条件になり、この科目の単独履修は認められない。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノ実技Ⅱ③

ピアノ演奏家Ⅱ

曜日時限

担当教員

実技

実技担当教員

授業形態	開講年次	開講期	単位数	定期試験				その他の試験	合計	
				評価種別	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表		授業内小テスト
実技・実習	3～	通年	6	評価割合	100	0	0	0	0	100

教育到達目標と概要

この科目はピアノ演奏家コースの中でも、特に高い専門性を求める学生に開講された実技レッスンの選択科目である。演奏会出演や、コンクール参加等の実践的経験を重ねつつ、演奏家たるに必要な肉体的、精神的能力の向上を図る。ピアノ実技Ⅰ①②③④に準ずるものであり、その科目に連動しつつ更に研究を深めていくことを目的としている。選択科目ではあるがピアノ実技Ⅰ①②③④履修者は履修することが望ましい。普段の練習、訓練が重要で相当の時間を費やすことが必要である。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な様々な要素を磨き、演奏家として必要な表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	個々の課題における改善方法
第3回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第4回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第5回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第6回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第7回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第8回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第9回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第10回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第11回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第12回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第13回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第14回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第15回	前期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）
第16回	オリエンテーション（レッスン計画、目的、勉強方法等）
第17回	個々の課題における改善方法
第18回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作曲者についての理解を深める）
第19回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を学ぶ）
第20回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（的確な楽譜の読み取り方を修得する）
第21回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（作品分析をする）
第22回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（楽曲内容を理解する）
第23回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを学ぶ）
第24回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏スタイルを修得する）
第25回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点を挙げる）
第26回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（技術的問題点の解決方法を探る）
第27回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈を学ぶ）
第28回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（演奏解釈等を生かす）
第29回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を学ぶ）
第30回	後期実技試験課題曲を中心としたレッスン（音楽表現を修得する）

履修上の注意

ピアノ実技Ⅰ①②③④の履修が条件になり、この科目の単独履修は認められない。

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分に練習し、レッスン受講の準備をすること

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

科目名－クラス名

ピアノⅡ②

9:45～10:30

曜日時限

木 1時限

担当教員

後藤 正孝

授業形態	開講年次	開講期	単位数	評価方法				その他の試験	合計
				定期試験				授業内小テスト	
実技・実習	2～	通年	2	筆記・実技	課題提出	作品提出	成果発表	20	100
				80	0	0	0		

教育到達目標と概要

ヨーロッパ音楽を中心に、その歴史的な流れに沿って様々な作品に触れ、個々の作品の音楽的内容、それらの作品が成立した背景などについて、グループレッスンにより学修する。また、ピアノと他の楽器、声楽との関わりについても研究する。

学修成果

それぞれの作品に即した様々な演奏法、多彩な音色（タッチ）について研究し、また和声感、リズム感など演奏表現に必要な多くの要素を磨き、表現力を養っていく。

授業展開と内容

第1回	オリエンテーション（年間レッスン計画、目的、勉強方法等）
第2回	スケール・アルペジオを用いたテクニック習得
第3回	スケール・アルペジオを用いた日々のトレーニング方法
第4回	4声ハーモニー・2声ポリフォニー演奏を通じた学修 基礎
第5回	4声ハーモニー・2声ポリフォニー演奏を通じた学修 応用
第6回	ピアノ伴奏（ピアノ2台を用いた伴奏の学修 基礎）
第7回	ピアノ伴奏（ピアノ2台を用いた伴奏の学修 発展）
第8回	ピアノ伴奏（各自の専攻楽器や歌曲の伴奏 基礎）
第9回	ピアノ伴奏（各自の専攻楽器や歌曲の伴奏 発展）
第10回	練習曲における作品内容理解（指使い等）基礎
第11回	練習曲における作品内容理解（拍子、調性、和声）応用
第12回	練習曲における楽曲分析と演奏表現（フレーズ・デュナーミク）基礎
第13回	練習曲における楽曲分析と演奏表現（アゴーギク）応用
第14回	練習曲における演奏スタイルの学修
第15回	前期授業内小テスト / 後期学修の計画
第16回	楽曲の和声分析、和声進行の理解
第17回	楽曲の和声分析、和声進行の理解
第18回	連弾・2台ピアノ 基礎
第19回	連弾・2台ピアノ 練習方法
第20回	連弾・2台ピアノ 演奏と意見交換
第21回	後期試験曲の練習計画
第22回	後期試験曲のアナリーゼ
第23回	後期試験曲のグループレッスン
第24回	様々なアンサンブル（各自の専攻楽器とのアンサンブル、連弾・2台ピアノの続きを含む）基礎
第25回	様々なアンサンブル（各自の専攻楽器とのアンサンブル、連弾・2台ピアノの続きを含む）練習方法
第26回	様々なアンサンブル（各自の専攻楽器とのアンサンブル、連弾・2台ピアノの続きを含む）演奏と意見交換
第27回	後期試験曲を中心としたグループレッスン（技術的問題点等の解決方法を探る）
第28回	後期試験曲を中心としたグループレッスン（演奏表現）基礎
第29回	後期試験曲を中心としたグループレッスン（演奏表現）発展
第30回	後期試験曲を中心としたグループレッスン / 年間学修の総括

履修上の注意

鍵盤楽器部会の指定する招聘教授による公開講座・レッスン・演奏会等を積極的に聴講すること

授業外学修の指示／課題に対するフィードバックの方法

十分な練習と準備をしてレッスンに望むこと。レッスンノートの記入を徹底し、やむを得ず欠席した場合はグループ内でレッスン内容の情報共有等を行うこと。

教科書・参考書

適宜資料等を配付する

2022年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード：2466 教員名：後藤正孝

1) 評価結果に対する所見

好意的な意見が多かった一方で、自分の授業の進め方をより洗練させていかなければならないと強く感じました。

2) 要望への対応・改善方策

自分自身はその授業で何を伝えたいのか、常に専門的な研究を怠らず内容を突き詰めていきたいと存じます。

3) 今後の課題

自分自身滑舌が悪いので、その点を特に改善していきたい。そして印象心理学など、学生からどう見えているのかを常に考え、授業の進め方を組み立てて参りたいと思います。

以 上